

# Wireless Chime GG R \*16!

ワイヤレス チャイム アイプッシュ

# 取扱説明書



このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 で使用の前に、本説明書をよくお読みいただき、 正しくお取扱いいただきますようお願い致します。





IN	DEX
	消去&設定機       16         リピータ(中継機)       20         お手入れ方法       22         故障かな?と思ったら       22         仕様       23         ディップスイッチ一覧       25         保障とアフターサービス       29

アイコール株式会社

## 安全上のご注意

- ★ご使用の前には、「安全上のご注意」をお読みいただき、正しくお使いください。
- ★ここで示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいだだき、ご使用になる方や他の人々への危害、 損害を未然に防止する為のものです。

注意事項は、危害や損害の大きさ、重要度を明示するために、誤った取扱いをすると起こり得る内容を 「警告」注意」の二つに区分しています。

.....

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性や物的損害の 発生が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び物的損害 のみの発生が想定される内容を示しています。

## ■マークについては次のような意味があります





🚫 ……「禁止していること」を表す内容です。

......



……「必ず行うこと」を表す内容です。

……「注意や警告」を表す内容です。



- ●コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- (感電やショートして発火することがあります。) ●傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり無理に曲げたり引っ張ったり、ねじったり、束ね たりしないでください。傷んだ状態で使用すると感電、ショート、火災の原因となります。



●お手入れの前には、電源プラグを抜いてください。(感電のおそれがあります。)



●絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。(火災や感電のおそれがあります。)



- ●製品に水や洗剤をかけないでください。
- ●水のかかるところや、湿気の多い場所には設置しないでください。(火災や感電のおそれがあ ります。)



- ●煙が出たり、変な臭いや音がするときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。(火 災や感電のおそれがあります。)
- ●内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、速やかに電 源プラグを抜いてください。(火災や感電のおそれがあります。)



- ●コードを乱暴に扱わないでください。 ●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてから使用してください。(火災や感電のおそれがあります。)



●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因となります。)

1

## ∧ 注意



●電源コードを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜いてください。 (感電やショートして発火することがあります。)



●不安定な場所や火の気の近くでは使用しないでください。(変形・故障の原因となります。)



●送信機・消去&設定機の乾電池は極性に注意して表示通りに入れてください。 また新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる電池を混ぜて入れないでください。(乾電池の液漏れ・故障の原因となります。)



●乾電池は充電しないでください。(乾電池の液漏れ・故障の原因となります。)



●受信機・外部アンテナを移動させるときは、アンテナを折りたたんでから移動してください。 (アンテナが折れたり、アンテナの先でけがをする原因となります。)



●長期間、ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。 (火災の原因となります。)



●雷が鳴ったら、電源コードにも触れないでください。(火災や故障の原因となります)



●強い衝撃を与えたり、磁気を帯びたものを近づけないでください。また、通気孔をふさがないでください。

ご注意 ●アイブッシュは連絡用ワイヤレスチャイムです。犯罪防止や救命用目的ではありません。 また、電波の届く距離は使用場所や条件によって短くなる場合があります。

#### ★設置場所のご注意

- ◆電波の届く距離は使用場所や条件によって短くなる場合がありますので、設置または、その後の 使用状況によりご確認ください。
- ◆ノイズ(妨害電波)の影響を受けやすい、受信表示機・携帯受信機・受信スピーカー・中継機(リピーター)は、ノイズを発生しやすい機器から2メートル以上離して設置するようにしてください。また、壁面に設置する場合は、その壁の裏側にもご注意願います。

ノイズを発生させやすい機器がある場合は、事前にご相談ください。

◆ノイズ (妨害電波)が発生しやすい機器の例

エアコン等の空調機・冷蔵庫・冷蔵ケース・室外機・パソコン等の通信機器(中継機・無線LAN)携帯電話・コードレスフォン・その他の商品電力の多い電気機器のオン・オフ時等。

## はじめに

## ■製品紹介

●アイプッシュは受信機・送信機・消去&設定機の組み合わせで機能します。その他オプションをご利用いただくことで、より利便性を高めます。



- ●緑のみの1色表示で使い方がシンプル●番号表示がスクロールするので、スタッフの視覚にアピール ●先 着順に番号表示 ●コール残数表示 ●時間経過を点滅表示でお知らせ
- ◆4段階で時間経過をお知らせ①約30秒点灯→②ゆるやかな点滅表示(2秒点灯/0.5秒消)→③30秒後→点滅表示(1秒点灯/0.5秒消)→④30秒後→早い点滅表示(0.5秒点灯/0.5秒消)→90秒後消灯

#### ■充電機



## ■リピーター(中継機)

入り組んだ工場など、電波が届きにくい場所で使 用します。複数台設置可。



## ■送信機

①スタンダード(標準)型 ②会計/注文(オプション) ③カード型(オプション)カードサイズのコンパクな送信機です。スタンダード型を置きにくい場所にも設置できます。 ④ナプキンスタンド

## ■消去&設定機

受信表示機の表示を消去する際に使用します。また受信表示機の各種設定を行うことができます



## ■携帯受信表示機(消去機能付)

どこにいても表示をキャッチ。 パイプレーション機能も 備えたモデルです。

## ■受信スピーカー

受信表示機から離れた 場所でもチャイム音を確認できます。





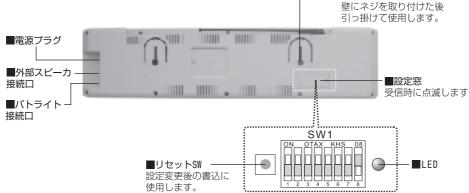


9987

## 受信表示機

## ■各部の名称&機能





## ★設置場所

◆電波の届く距離は使用場所や条件によって短くなる場合がありますので、設置または、そ の後の使用状況によりご確認ください。

◆ノイズ(妨害電波)の影響を受けやすい、受信表示機・携帯受信機・受信スピーカー・中継機(リピーター)は、ノイズを発生しやすい機器から2メートル以上離して設置するようにしてください。また、壁面に設置する場合は、その壁の裏側にもご注意願います。

ノイズを発生させやすい機器がある場合は、事前にご相談ください。

◆ノイズ (妨害電波)が発生しやすい機器の例

エアコン等の空調機・冷蔵庫・冷蔵ケース・室外機・パソコン等の通信機器(中継機・無線LAN)携帯電話・コードレスフォン・その他の商品電力の多い電気機器のオン・オフ時等。

⚠ 注意 火災や感電の恐れがあるため、周囲の温度が40℃を超える場所や、湿度が高い場所、水がかかる場所には設置しないでください。



- ●設置場所が金属類に近い場合、電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電気機器などからなるべく離して設置して<ださい。
- ●落下しにくい場所への設置をお願いします。(床の上などに落とすと故障の原因につながります)

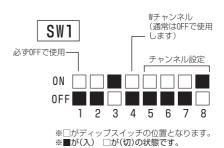
#### ★チャンネル設定

チャンネルは10chの中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。受信表示機にはディップスイッチがあります。チャンネルの設定にはディップスイッチを使います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

※通常、チャンネルを変更する必要はありません。受信表示機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は 電源プラグをコンセントから抜きます。

- 2 設定窓を開けます。
- **3** チャンネルは[SW1]で設定します。
- 4 工場出荷時には1チャンネルに設定されています。 必要に応じてチャンネルを変更してください。
- 5 設定終了後、電源を入れてディップスイッチ左横の リセットSWを押すと設定が反映されます。



⚠ 注意 必ず電源ブラグをコンセントから抜いて操作してください。電源を入れたままで設定を 行うと配線がショートし、機器が破損する恐れがあります



## ●停電時のバックアップ機能

バックアップ機能を搭載していますので、瞬間停電はもちろん、数秒間程度の停電にも対応 し、コールを記録し、復旧後に呼出し番号を表示します。

## ●リセットSW

初期設定に戻ります。(音量(2段階)、明るさ(最大)、音色(ピンポーン))但し、設定が保持されている場合、初期設定に戻りません。また、設定変更時に使用します。

#### ●設定の保持機能

長時間電源を切る場合などの時、設定機で設定した音色、音量、明るさが初期設定に戻らない様設定を保持します。

※この場合、保持機能が優先されますので、リセットポタンを押しても初期設定に戻りません。設定機以外で設定を初期化する時は保持機能を解除してください。

#### ●誤表示自動消去機能

ごく稀に外部のノイズ等の影響により、受信表示機の表示窓に、実際には設定されていない数字や文字化け等が表示されることがありますがそれらの表示を除去するため、自動的に正しく受信されたもの以外を3秒毎にチェックし、消去する機能です。

#### ●Wチャンネル

Wチャンネルとは、特定の2つのch(チャンネル)を受信できる機能です。

## ★音色設定

チャイム音を13種類の中から設定することができます。

★設定は消去&設定機で行います。





地震は16段後

かさ16度点

## ★音量設定

呼び出しチャイム音の音量を16段階で設定することができます。

★設定は消去&設定機で行います。

音量	LED
1~4	1個点灯
5~8	2個点灯
9~12	3個点灯
13~16	4個点灯





4個のLEDで音量の設定状態を表示します。

## ★明るさ設定

LEDの明るさを16段階で設定することができます。

★設定は消去&設定機で行います。

音量	LED
1~4	1個点灯
5~8	2個点灯
9~12	3個点灯
13~16	4個占灯





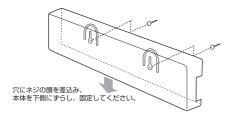
## ★設置方法 (オプション)

## ◆壁面取り付けの場含

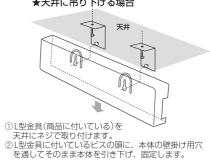
右図のように壁にネジを取り付け、本体の壁掛け用穴にネジの頭を引っ掛けて使用してください。



- ①ネジを壁に取り付ける。②本体後ろの壁掛け用穴にネジの頭を通して引っ掛け、 下にずらして固定させる。※ネジは各自が準備してください。



## ★天井に吊り下げる場合





■主な機能 ●呼び出しを受信すると番号表示と同時に受信ランプが点滅。呼び出しをわかりやすくお知らせします。●呼び出しはバイブレーション(振動)やチャイム音でもお知らせできます。●消去機能を搭載。他の表示機の呼び出し番号を消去できます。

消1キー(SET)を2秒以上押し続けると数値が設定され電源がオフになります。



受信表示機

から外すと自動的にスイッチが入りドット[.]表示が点滅して表示します。 :き、ブザーとバイブを設定のオン/オフに従って、それぞれが1回動作します。

- △□□阪からの呼出信号を受信し、その番号が表示されます。
- このとき、ブザーとバイブを設定のオン/オフに従って、それぞれが動作します。
- 3 この受信表示状態で、その番号に対応した左右のボタンを押すとブザーとバイブは停止し、その表示と 受信表示機の同番号が消えます。
- 受信表が続い向笛号が引えます。 4 受信番号が全て消去されるとドットのLEDが移動を開始し、送信機からの受信待機状態となります。 5 携帯受信機に表示番号がなく、番号表示機に不要な番号が消去されないで残っている場合には表示窓に 対応した左右のボタンを押すと番号表示機に表示されている番号を消去できます。 6 充電台に載せて充電を開始すると充電LEDが赤く点灯して、この状態では受信しません。

## ★携帯受信表示機(充電台での動作)

- 1 充電台に携帯受信機を挿すと充電中を示す上部にあるLEDが赤色で点灯します。
- 2 充電が完了すると緑色に変わり点灯します。なお、この状態では、充電電流は完全に遮断されるので、 そのままにしておいても問題はありません。

## ★注意事項★

充電台に載せてある携帯受信機は、少しの振動で、充電完了の緑点灯から赤点灯に変わることがあり ます。充電されているため問題はありません。

- 3 翌日に使用する場合には夜間も充電を継続してください。過充電になることはありません。
- 4 充電器のスイッチを切ると、携帯受信機のスイッチは、オン状態になります。連続休業日は、携帯受信 機のスイッチをオフにしてください。

## ★電池残量LEDの表示

電池残量のLEDの表示動作は電池の状態により次の様になります。

	電池状態	電池残量LED	受信可否	送信可否
充電台上	充電中	赤の点灯	×	×
ル电ロエ	充電完了	緑の点灯	×	×
携帯中	通常点灯	点灯無し	0	0
1万市中	充電必要	赤の点滅	0	0

## ★携帯受信表示機(表示に対する設定)

1 ブザー(ピープ)	4 ダブルチャンネル
<b>アア のの</b> 【オン】ピープ音が鳴ります。	<b>♂ / / / / / / / / / /</b>
<b>アア</b> [オフ] ピープ音が鳴りません。	<b>ずり</b> 「オフ」ダブルチャンネルを無効にします。
2 バイブレーション	5 数字消去の送信
<b>bb p</b> 【オン】バイブレーションが動作します。	<b>5</b> [ <b>o</b> 【オン】数字を消去する信号を送信します。
<b>bb oF</b> 【オフ】バイブレーションが動作しません。	<u>5〔 oF</u> はフ)
3 チャンネル	6 イヤホーン音量
<b>[H</b> ] [最小1] 使用するチャンネルを合わせます。 <b>[H</b> ] [D] [最大10]	EL       【最小1】イヤホーンの音量を設定します。         EL       3】

「消1|ボタン2秒押しにより、全項目の数値が確定して電源がオフになります。 なお、6項目のブザー音量はオプションで、イヤホーン・ジャックが無い場合は設定はできますが無効です。

## **本重哭**

## ■各部の名称

■携帯受信表示機差込口 -

携帯受信表示機を設置すると 充電が始まります。

■電源ランプ -

■電源スイツチ -

電源ON/OFFが行えます、

■ACアダプタ接続口 ´ ACアダプタを接続して 使用します。



## ★充電方法

充電器にACアダプタを接続します。

**2** ACアダプターをコンセントに差し込みます。

**3** 電源スイッチを押します。 これで充電器の準備は完 これで充電器の準備は完了です。

4 携帯受信表示機を携帯受信表示機 差込口にセットします。

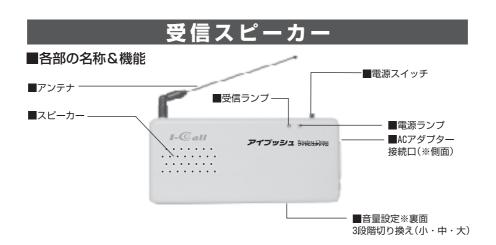
セットすると自動的に充電が始まります。 フル充電には約5時問必要です。

- ★充電中は携帯受信表示機の受信ランプか亦巴に只知します。 ★満充電になると緑色に点灯します。携帯受信機のバッテリー残量が少なくなると、受信ランプが赤く点滅します。その場合には速やかに充電してください。また電池残量が十分でないと誤作動する恐れがあり、

★送信機・受信機・充電器の高温/高湿の場所での設置またはご使用は避けてください。動作不良や誤動 作する原因になります。ご使用温度範囲約0℃―40℃(中継機含む)

## ★注意事項★

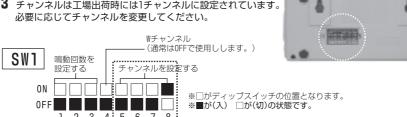
充電台に載せてある携帯受信機は、少しの振動で、充電完了の緑点灯から赤点灯に変わることがあり ます。充電されているため問題はありません。



## ★チャンネルの設定

チャンネルは10(1~10)の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行い ます。

- ★通常、チャンネルを変更する必要はありません。受信スピーカーのチャンネルを変更した場合は、 他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販充店へお問い合わせください。
- 電源が接続されている場合、専用アダプタの電源を外し受信スピーカーを取り外してください。
- 2 裏側のビス(2本)を外し、 蓋を取り外します。
- チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。



4 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、ビスを取り付けます。

電源を接続したままでの設定変更はできません。必ず電源を外してから設定変更してく ⚠注意 ださい。

ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケ ⚠注意 一ス本体が破損することがあります。



Wチャンネルとは、特定の2つのch(チャンネル)を受信できる機能です。チャンネル1~5を設定した場合において、対応した11~15のチャンネルも受信できます。 【例】1ch+11ch、2ch+12ch、3ch+13ch、4ch+14ch、5ch+15ch

## ★音量設定

音量は小・中・大の三段階にて調整できます。



重要 チャイム音が鳴り終わるまで次の受信はできません。

## ★設置場所



- ◆電波の届く距離は使用場所や条件によって短くなる場合がありますので、設置または、そ 重要 の後の使用状況によりご確認ください。
- ◆ノイズ(妨害電波)の影響を受けやすい、受信表示機・携帯受信機・受信スピーカー・中継 機(リピーター)は、ノイズを発生しやすい機器から2メートル以上離して設置するようにしてくださ い。また、壁面に設置する場合は、その壁の裏側にもご注意願います。
- ノイズを発生させやすい機器がある場合は、事前にご相談ください。
- ◆ノイズ (妨害電波)が発生しやすい機器の例

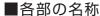
エアコン等の空調機・冷蔵庫・冷蔵ケース・室外機・パソコン等の通信機器(中継機・無線LAN)携帯 電話・コードレスフォン・その他の商品電力の多い電気機器のオン・オフ時等。

がかかる場所には設置しないでください。



- ・パイン ●設置場所が金属類に近い場合、電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電 気機器などからなるべく離して設置して<ださい。
  - ●落下しにくい場所への設置をお願いします。(床の上などに落とすと故障の原因につながり ます)。











■ナプキンスタンド(オプション)



■コールボタン カード型(オプション)

#### ★使用方法

コールボタンを押すと受信表示機に信号が送られます。同時にピッと発信音が鳴ります。

★スタンダードでご説明しています。他の機種でも基本的 に使用方法は同じです。 受信表示機に、各送信機からの番号が表示されます。 番号の大きい小さいに関わらず、左窓から順番に表 示されていきます。







送信機には、日本の電波法に基づいて、発信間隔約2秒のタイムラグが設けてあります。

## ★設置場所

⚠注意

腐食や故障の原因となるため、周囲の温度が $40^{\circ}$ と超える場所や、湿度が高い場所、水がかかる場所には設置しないでください。



- ●設置場所が金属類に近い場合、電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電気機器などからなるべく離して設置して<ださい。
- ●床の上などに落とすと故障する場合があります。落下しにくい場所への設置をお願いします。

## ★コールボタンの電池交換方法

コールボタンを押しても受信表示機に番号が表示されない時や、ピッという発信音が鳴らない時は、電池の寿命が考えられます。速やかに新しい電池に交換してください。

1 ネジを外して蓋を開け、電池を取り外します。

2 新しい電池を入れます(極性を聞違えないように注意してください)。

## 【使用する電池の種類と本数】

スタンダード	単3アルカリ乾電池×2本
カード型	単4アルカリ乾竃池×2本

3 設定用蓋を閉じます。



電池はアルカリ乾電池のご使用をおすすめしています。電池の寿命はおよそ1年です(使用環境によって異なります)。

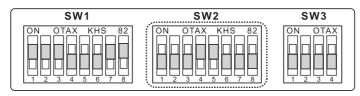
## ★チャンネルの設定(スタンダード型・カード型)

チャンネルは10(1~10)の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。

☆ 9.0 送信機には3個のディップスイッチがあります。チャンネルの設定には向かって中央のスイッチ(SW2)を使用します。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

★通常、チャンネルを変更する必要はありません。送信機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネル も変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

**2** チャンネルは向かって中央のディップスイッチ(SW2)で設定します。



**3** チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。 必要に応じてチャンネルを変更してください。



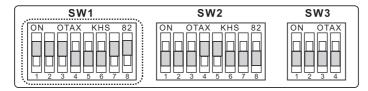
- ★各番号の設定方法は27ページをご覧ください。
- 4 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

⚠ 注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

## ★番号の設定 (スタンダード型・カード型)

送信機の番号は1〜99の範囲で設定することができます。設定はディップスイッチにて行います。 送信機には3個のディップスイッチがあります。番号の設定には向かって左側のスイッチ(SW1)を使用します。設定の際にはスイッチを聞違えないようご注意ください。

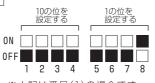
- 1 設定用蓋を開けます。
- **2** 番号は向かって左側のディップスイッチ(SW1)で設定します。



⚠ 注意 中央と右側のスイッチは動かさないでください。

3 必要に応じて番号を変更してください。





※□がディッブスイッチの位置となります。
※■が(入) □が(切)の状態です。

※上記は番号(1)の場合です。

- ★各番号の設定方法は25・26ページをご覧ください。
- 4 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

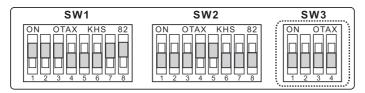
## ★音色の設定 (スタンダード型・カード型)

受信表示機から出るチャイム音を13種類の中から個別に設定することができます。設定はディップ スイッチにて行います。

送信機には3個のディップスイッチがあります。音色設定は向かって右側のスイッチ(SW3)を使用 します、設定の際にはスイッチを閻違えないようご注意ください。

ディップスイッチの位置、 1 設定用蓋を開けます。

**2** 音色設定は向かって右側のディップスイッチ(sw3)で設定します。



3 必要に庵じて音色を設定してください。



★音色の設定は28ページを参照。(1~13番)



- ●音色設定が未設定の場合、受信表示機側の設定音が鳴ります。
- 送信機側の音色設定がある場合、送信機側の設定が優先されます。 ●消去&設定機の音色ボタンを押すとチャイム音がロータリー式に出力されると同時に受信 表示機のコール残数窓に音色番号が表示されます。 お好みのチャイム音の音色番号を選んで設定してください。 ※チャイム音は受信表示機のスピーカーから出力されます。
- 4 希望する音色にスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

## 消去&設定機

## ■各部の名称

■チェックボタン 受信表示機に表示された番号 を消去する時に使用します。



**✓■表示時間設定ボタン** 呼び出し番号の自動消 去時間を設定できます。

**■明るさ設定ボタン 〜** LEDの明るさを16段階で 設定できます。

16段階で設定できます。

★蓋を上にスライドして 設定ボタンを露出した状態。

tin ta tat t

■音色設定ボタン呼び出しチャイム音の音色を設定できます。

## ★消去&設定機の使用方法

●受信表示機の設定



#### ●表示番号の消去



ボタン位置は受信機の表示窓 位置と対応しています。

★左から2つ目の番号表示を消去したい時には、消去&設定機の左から2つ目のチェックボタンを押します。

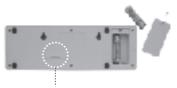
## ★チャンネルの設定

チャンネルは10(1~10)の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

★通常、チャンネルを変更する必要はありません。消去&設定機のチャンネルを変更した場合は他の機器 全てのチャンネルも変璽する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

記定用蓋を開けます。

**2** チャンネルはディップスイッチで設定します。



ディップスイッチの位置

**3** チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています.。必要に応じてチャンネルを変更してください。

4 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

## ★音量設定

呼び出しチャイム音の音量を16段階で設定することができます。

★チャイム音は受信表示機のスピーカーから出力されます。

- 1 工場出荷時の状態では音量は2に設定されています。
- 2 音量を大きくしたい時は、▲ボタンを押します。ボタンを押した分だけ音量が大きくなります。 (音量16まで)。その都度、チャイム音と受信表示機に設定されている音色番号(1~13)がコール残数表示窓に表示されます。



3 音量を小さくしたい時は、▼ボタンを押します。ボタンを押した分だけ音量が小さくなります。 (音量0まで)。その都度、チャイム音と受信表示機に設定されている音色番号(1~13)がコール残数表示窓に表示されます。





4 お好みの音量に設定されたことをことを確認し、設定用蓋を閉じます。

## ★明るさの設定

1 工場出荷時の状態では明るさは(最大)に設定されています。



f 2 LED表示を暗く設定したい時は、 $f \sqrt{\pi}$  ボタンを押します。ボタンを押した分だけLED表示は暗くなります。





 $\bf 3$  LED表示を明るく設定したい時は、lacktriangleボタンを押します。ボタンを押した分だけLED表示は明るくなります。





4 見やすい明るさに設定されたことを確認し、設定を終了します。

#### ★表示時間設定

呼出し番号を自動で消去するまでの時間を設定できます。

- ★に設定すると、自動消去機能は設定されません(消去機で消去するまで番号が表示されます)。
- 1 工場出荷時の状態では、★に設定されています。
- **2** 表示されている時間を短く設定したい時は▼ボタンを押します。番号表示後約2分経過すると自動で番号表示が消去されます。
  - コール残数表示窓に▼ボタンを押すとA(A)の表示が出ます。表示で設定が確認できます。
- 3 表示されている時間を長く設定したい時は▲ボタンを押します。番号表示後約3分経過すると自動で番号表示が消去されます。
  - コール残数表示窓に▲ポタンを押すとb(B)の表示が出ます。表示で設定が確認できます。



4 ★ ボタンを押すと、自動消去機能がキャンセルされます。 番号表示を消去したい時は、チェックボタンを使用してください。 コール残数表示窓に★ボタンを押すとC(C)の表示が出ます。 表示で設定が確認できます。



全主意 自動消去機能を設定した場合、番号表示が消去されてしまう可能性があります。トラブルを未然に防ぐためにも、通常は★の状態でご使用になられることをおすすめします。

## ★音色設定ボタン

呼び出しチャイム音の音色を13種類の音の中から設定できます。

- 1 「音色」▲ボタンを押します。チャイム音が出力されます。
- 2 もう一度「音色」▲ボタンを押すと別のチャイム音が出力されます。
- 3 お好みの音色を13種類の音色の中からお選びください。
- 4 「音色」▲ボタンはロータリー切り替え式になっています。 13種類のチャイム音を出力し終わると、最初に戻ってチャイム音を出力します。



\_\_ 【音色】

受信機コール残数表示窓に音色ボタンを押すと1~13の数字が表示されます。



☆ 注意 送信機側の音色設定がある場合、送信機側の音色設定が優先されるため送信機側の音色設定が固ます。

5 お好みのチャイム音が設定されたことを確認し、音色設定を終了します。

## ★電池交換方法

チェックポタンを押しても受信表示機の番号を消去できない時や、明るさ設定ボタンを押しても LEDの明るさが変化しないような場合には、電池の寿命が考えられます。 速やかに新しい電池に交換してください。

- 1 ビスを外して電池蓋を開け、電池を取り外します。
- 2 新しい電池を入れます(極性を聞遵えないように 注意してください)。
  - ◆消去&設定機には単3アルカリ乾霞池×2本を使用
- 3 電池蓋を閉じます。



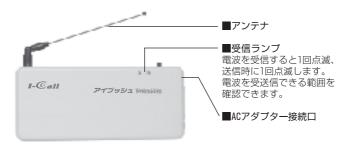


のIE 電池はアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。 電池の寿命はおよそ1年です(使用環境によって異なります)。

ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。 ⚠注意 又は、ケース本体が破損することがあります。

# 中継機(リピーター)

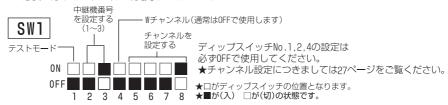
## ■各部の名称



## チャンネルの設定

チャンネルは10チャンネルの中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。リピータ(中継機)には2個のディップスイッチがあります。 チャンネルの設定には、向かって左側のスイッチ(SW1)を使用します。設定の際には、スイッチを間違えないようご注意ください。

- ★通常、チャンネルを変更する必要はありません。リピータのチャンネルを変更した場合は、他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。
- 1 電源が接続されている場合、専用アダプタの電源を外しリピータ(中継機)を取り外してください。
- 2 設定用蓋を外してください。
- **3** チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。 必要に応じてチャンネルを変更してください。





中継機番号の同番号の組み合わせの使用は出来ません。 複数台使用の場合は中継機番号をNo.1~No.3の順序で使用してください。



## ●Wチャンネル

Wチャンネルとは、特定の2つのch(チャンネル)を受信できる機能です。チャンネル1~5を設定した場合において、対応した11~15のチャンネルも受信できます。 [例1ch+11ch、2ch+12ch、3ch+13ch、4ch+14ch、5ch+15ch

●テストモード(ディップスイッチNol ON時)

リピーターからの電波が受信表示機に届く範囲を調べる機能です。 送信機の番号十1の番号が受信機に表示されます。 ⚠ 注意 テストモードを使用した場合は、使用後、必ずテストモードをOFFに戻してご使用ください。

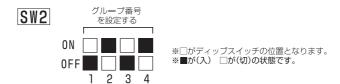
4 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

▲ 注意 電源を接続したままでの設定変更はできません。必ず電源を外してから設定変更してください。

⚠ 注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。 又は、ケース本体が破損することがあります。

## ★グループ番号の設定

グループ番号はNo.1~No.15までの設定です。工場出荷時にはNo.5(アイプッシュ)に設定されています。 リピーター(中継機)には2個のディップスイッチがあります。グループ番号の設定には、向かって右側の スイッチ(SW2)を使用します。設定の際には、スイッチを間違えないようご注意ください。



★グループ番号の設定は27ページをご覧ください。

▲ 注意 電源を接続したままでの設定変更はできません。必ず電源を外してから設定変更してください。

## ★設置場所



本機を設置する場合は、設置場所に注意が必要です。 2ページ下段囲み「設置場所のご注意」をご覧ください。

⚠ 注意 火災や感電の恐れがあるため、周囲の温度が40℃を超える場所や、湿度が高い場所、水がかかる場所には設置しないでください。



- ●設置場所が金属類に近い場合、電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電気機器などからなるべく離して設置して<ださい。
- ●落下しにくい場所への設置をお願いします。(床の上などに落とすと故障の原因につながります)。

## お手入れ方法

☆警告 感電の恐れがありますのでお手入れの前には必ず電源プラゲを抜いてください。

#### 【お手入れ】

- ●汚れが気になる場合には固く絞った柔らかい布で拭いてください。
- ●汚れがひどい時は、食器用中性洗剤を薄めた布で拭き、そのあと、固く絞った柔らかい布でよく拭いて ください。

(特に冬場には静電気の影響でホコリが付きやすくなることがあります)

★警告 火災や感電の恐れがありますので、製品や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

▲ 注意 ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、プラスチックを傷めますのでやめてください(プラスチックが割れてケガをする恐れがあります)

## 故障かな?と思ったら

#### 送信機のコールポタンを押しても、受信表示機に何も表示されない。

- ●受信表示機の電源プラグがコンセントに接続されているか確認してください。
- ●チャンネル設定が正しく行われているか確認してください。
- ●受信表示機のリセットSWを押してください。
- ●送信機の電池を確認してください。

## 送信機のコールボタンを押していないのに、番号が表示される。

- ●混線の可能性がありますので、別のチャンネルを設定してみてください。
  - ★問題が解決しない場合には販売店にご相談ください。

## 什様

## ■受信表示機

形式	IP5RX1
受信周波数	426.025~426.01375MHZ
受信チャンネル	1~10チャンネル(11~15ダブルチャンネル)
通信方式	単向通信方式
受信距離	約100m(見通し距離)
呼出番号表示	緑色7セグメントLED 2桁5窓(スクロール表示)
残数表示	赤色7セグメントLED 2桁
番号の最大記憶数	191個
チャイム音色数	13種類
音量調整	0~16段階(リモート調整)
表示LED輝度調整	0~16段階(リモート調整)
スピーカー出力	300mW(RMS)
電源	AC 100V(50/60Hz)
消費電力	約15W
使用環境	温度0℃~40℃ 湿度45%~85%
サイズ	550(W)×128(H)×50(D)mm(突起物を含まず)
重量	1.357 Kg (コードを含む)

## ■携帯受信表示機

形式	IP5PK1
受信周波数	426.025~426.01375MHZ
チャンネル受信	1~10チャンネル
通信方式	単向通信方式
通信距離	約50m(見通し距離)
送信出力	lmW(特定小電力)
呼出番号表示	赤色7セグメントLED 2桁2窓
残数表示	ドット数で表示
受信時音	5KHzの電子音(オン・オフ選択機能)
受信時バイブ	振動(オン・オフ選択機能)
番号の最大記憶数	191個
電池	リチウムイオン・ポリマー専用電池
連続動作時間	約9時間(待受状態)
充電時間	約5時間(専用充電器)
使用環境	温度0℃~40℃ 湿度45%~85%
サイズ	97(W)×55(H)×17(D)mm
重量	62g(電池パックを含む)

## ■消去&設定機

形式	IP5ST1	
送信周波数	426.025~426.01375MHZ	
送信チャンネル	1~10チャンネル	
通信方式	単向通信方式	
送信距離	約100m(見通し距離)	
送信出力	lmW(特定小電力)	
設定項目	音量、表示LED輝度、自動消去とチャイム音色	
ボタン操作音	電子音(ピッ音)	
電源	単三アルカリ電池 2本	
連続動作時間	約1年(使用状況により異なります。)	
使用環境	温度0℃~40℃ 湿度45%~85%	
サイズ	240(W)×80(H)×25(D)mm	
重量	218g(電池含まず)	

## ■送信機(丸型)

形式	IP5TX1(丸型)	
送信周波数	426.025~426.01375MHZ	
チャンネル受信	1~10チャンネル(11~15ダブルチャンネル)	
通信方式	単向通信方式	
送信距離	約100m(見通し距離)	
送信出力	1mW(特定小電力)	
設定項目	音量、表示LED輝度、自動消去とチャイム音色	
ボタン操作音	電子音(ピッ音)	
電源	単三アルカリ電池 2本	
連続動作時間	約1年(使用状況により異なります。)	
使用環境	温度0℃~40℃ 湿度45%~85%	
サイズ	80(W)×40(H)×65(D)mm	
重量	118g(電池を含む)	

## ■送信機(カード型)

形式	IP5TX2(カード型)		
送信周波数	426.025~426.01375MHZ		
チャンネル受信	1~10チャンネル(11~1	1~10チャンネル(11~15ダブルチャンネル)	
通信方式	単向通信方式	単向通信方式	
送信距離	約100m(見通し距離)		
送信出力	lmW(特定小電力)		
設定項目	音量、表示LED輝度、自動消去とチャイム音色		
ボタン操作音	電子音(ピッ音)		
電源	単四アルカリ電池 2本		
連続動作時間	約半年(使用状況により異なります。)		
使用環境	温度0℃~40℃ 湿度45%~85%		
	ホルダーなし	ホルダーに装着	
サイズ	60(W)×93(H)×14(D)mm	65(W)×95(H)×18(D)mm	
重量	67g(電池含む)	85g(電池含む)	

## ■中継機(リピーター)

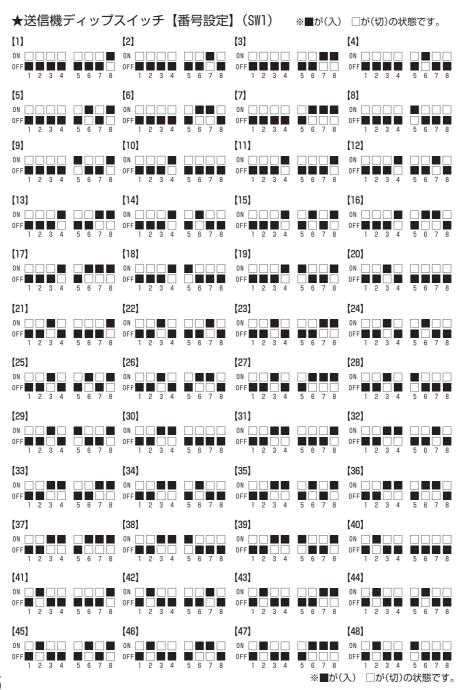
	<u> </u>
形式	AN-RP1
送信周波数	426.025~426.01375MHZ
チャンネル受信	1~10チャンネル
通信方式	単向通信方式
送信距離	約100m(見通し距離)
送信出力	lmW(特定小電力)
使用グループ指定	番号:5(アイプッシュ)
電源	DC9V専用アダプター(AC100V 50/60Hz)
使用環境	温度0℃~40℃ 湿度45%~85%
サイズ	180(W)×79(H)×25(D)mm(突起物を含まず)
重量	135g(電池を含む)

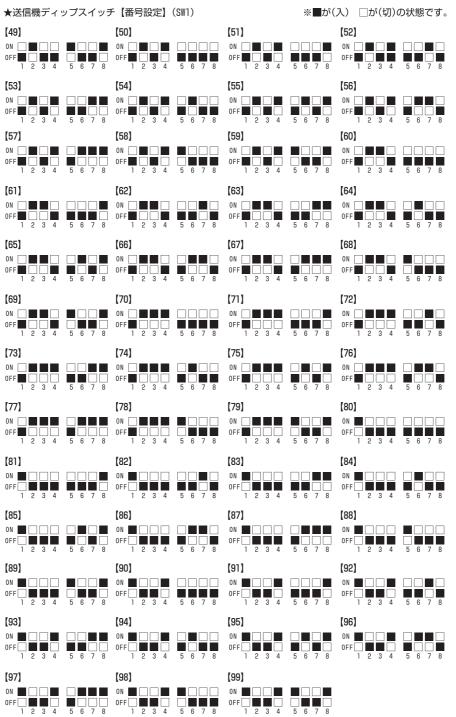
## ■充電機(5台用/10台用)

形式	5台用 CHG1-5				
	10台用 CHG1-10				
充電方式	有接点方式(電源スイッチ付)				
電源	DC 6V専用アダプター(AC100V 50/60Hz)				
使用環境	温度0℃~40℃ 湿度45%~85%				
サイズ	5台用172(W)×48(H)×75(D)mm				
	10台用 295(W)×48(H)×75(D)mm				
重量	5台用355g(ACアダプターを含まず)				
	10台用672g(ACアダプタ <b>ー</b> を含まず)				

## ■増設スピーカー

形式	IP5SP 1		
送信周波数	426.025~426.01375MHZ		
受信チャンネル	1~10チャンネル		
通信方式	単向通信方式		
送信距離	約100m(見通し距離)		
チャイム音色数	13種類(送信機からの自動設定機能)		
音量調整	3段階切り換え方式(小・中・大)		
スピーカー出力	300mW (RMS)		
電源	DC9V専用アダプター(AC100V50/60Hz)		
消費電力	約15W		
使用環境	温度0℃~40℃ 湿度45%~85%		
サイズ	$180(W) \times 79(H) \times 25(D)$ mm		
重量	164g(ACアダプタ <b>ー</b> を含まず)		





26

※■が(入) □が(切)の状態です。

#### ★受信表示機・受信スピーカー(中継機)共通チャンネル変更ディップスイッチ(SW1) [1] ON \_\_\_\_\_\_ ON \_\_\_ ON \_\_\_\_\_\_\_\_ ON 0FF 5 6 7 8 [8] [9] [10] [7] ★中継機(リピーター)のグループ番号設定(SW2) [1] [2] [3] [4] [5] [6] ON \_\_\_\_\_\_ ON \_\_\_\_ ON \_\_\_\_\_ ON \_\_\_\_\_\_\_\_ OFF 0FF 5 6 7 8 [7] [8] [9] [10] [11] [12] ON \_\_\_ ON \_\_\_\_\_ ON .... ON \_\_\_\_\_ OFF 6 7 8 OFF \_ 0FF \_\_\_ \_\_ \_\_ 14 13 ※■が(入) □が(切)の状態です。 ★消去&設定機チャンネル変更ディップスイッチ チャンネル設定(SW1) [1] [2] [3] [4] [5] [6] ON \_\_\_\_\_\_ ON \_\_\_\_ ON \_\_\_\_\_ ON \_\_\_\_\_ ON \_\_\_\_\_\_\_ 0FF 6 7 8 OFF

## ★送信機のディップスイッチ チャンネル設定(SW2)

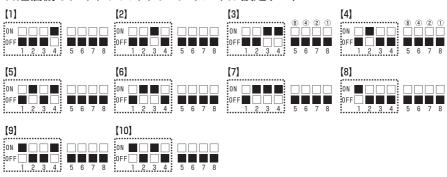
[9]

ON \_\_\_\_\_

(8)

ON \_\_\_\_

0FF 6 7 8

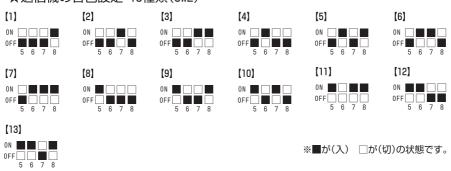


[10]

[7]

ON \_\_\_

## ★送信機の音色設定 13種類(SW2)



## NOTE

## NOTE

## 保障とアフターサービス

#### ●保証書

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

## ●補修用性能部品の最低供給年限

この製品の補修用性能部品の最低供給年限は製造終了後3年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ●ご不明な点に関するご相談

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

#### ●修理を依頼される場合

本誌の22ページ、「故障かな?と思ったら」にある操作を行ってお確かめいただき、問題が解決しない時は、電源を切り、販売店にご連絡ください。

## ●保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

## ●保証期間が過ぎている時は

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご相談ください。

#### 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社までに修理をご依頼ください。

品 名					
無料修理保証期間					
お客様氏名・電話				市外局番(	)
お客様ご住所	(〒	_	)		
■ 販売店名					
					印